

5区分	食料	25の施策分野	土地改良総合整備	事業名	経営体育成基盤整備			
市町村名	南箕輪村	ふりがな 箇所名	おおいづみ がわ みなみ 大泉川南		工 期 (年度)	当 初 実 績	H11 ~ H16 H11 ~ H16	
当回事業費	800,000 千円		費 用 対 果 効 果	当初	1.02	完了後経過年数	5年	
最終事業費	730,000 千円			評価時	-			
事業化の目的	本地区は、昭和3年の西天竜幹線水路完成に伴い開田が行われた5～10a区画の水田地域であるが、生産基盤の整備が遅れていることから、営農に支障をきたしていた。また、経営者の高齢化や労働力不足もあり、早急に基盤整備による農地集積と作業受委託の促進を行い担い手の育成を図る必要があることから、農業農村活性化計画を作成し生産基盤の整備を行った。							
事業等経過	当初計画内容	整地工A = 39 ha、用水路工(VU50～500)L=5.4 km、排水路工(BF25～70)L=4.1 km 農道工(幹線W=7.0m)L=0.2 km(支線W=5.0m)L=6.5 km、農村公園A=0.3 ha						
	最終事業内容	整地工A = 38.8 ha、用水路工(VU50～500)L=5.4 km、排水路工(BF25～70,VU300)L=4.1 km 農道工(幹線W=7.0m)L=0.2 km(支線W=5.0m)L=6.5 km、農村公園A=0.3 ha						
	変更理由	なし。						
費用対効果の算定の基礎となった要因の変化								
評価時の費用対効果は算定していない。								
社会経済情勢の変化								
用水の安定供給により米の反収は増加し、農地利用の汎用化も進んでいるが、一方で輸入農産物の増加、米価を初めとした農産物価格の低迷等により、農業経営は厳しい状況にある。 農業就労者の減少、農業従事者の高齢化、農地の宅地化が進み、農家と非農家の混住化も進んでいる。								
評 価 内 容							ランク	
							部	政策評価課
事業効果の発現状況(S:目的を超えた達成 A:達成した B:概ね達成 C:達成したとはいえない) ・水稲については計画とほぼ同様な作付けがなされており、生産性の向上が図られている。 ・事業目的の一つである担い手農家への農地の利用集積も順調に進められており目標を超えた達成がなされている。(担い手農家への農地集積率:計画25.0% 実績60.0%)							S	S
事業実施に伴う自然環境の変化(S:環境がよくなった A:影響なし B:影響あり C:影響が大きい) ほ場整備により地形が変わり、自然環境に影響があったが、全てのほ場で耕作されるとともに用水路はパイプライン化され、自然環境の変化は少ない。アンケート調査の回答も「良くなった、やや良くなった、変わらない」は75.8%で「悪くなった、やや悪くなった」の12.9%を大きく上回っている。							B	B
施設の維持管理状況(S:地域の人たちの参加あり A:適切にされている B:やや不十分 C:適切にされていない) 西天竜幹線水路の管理団体である西天竜土地改良区を中心に各水利組合により年3回程度草刈と、通水開始前の泥上げ等を行い適切に管理されている。							A	A
地域住民等の評価(A:評価が高い B:中程度の評価 C:評価が低い) 工事の納得度は約7割の方から評価されている。							B	B
改善措置の必要性(A:改善の必要なし B:小規模な改善が必要 C:大規模な改善が必要) 当事業としての改善措置の必要性はない。							A	A
事業の目的以外で地域社会への貢献状況(A:貢献度が高い B:貢献している C:特になし) 本事業で生み出された住宅団地は完売となっており、地域の活性化に貢献している。							B	B
部 意 見	事業実施後の作付けや農地の利用集積が順調に進み、ほ場内の農道や水路等の整備により、農作業の省力化などの効果が発現しており、地域の生産基盤及び生活環境の向上に寄与している。			政 策 評 価 課 見	農業基盤の再整備により、農地の利用集積や農作業の省力化が図られ、事業の目的を達成している。			
今後の取組及び同種事業の計画・調査のあり方や評価手法の見直し等								
農業用施設は、農業生産に利用するのみならず地域の重要な生活基盤施設として活用されている。アンケートにおいても砂利道の舗装等、事業完了後の利便性向上に関する要望があったため、事業計画段階から地域住民を交え維持管理を含めた計画を立て推進していく。								

5区分	食料	25の施策分野	土地改良総合整備	事業名	経営体育成基盤整備
市町村名	南箕輪村	ふりがな 箇所名	おおいづみ がわ みなみ 大泉川南		

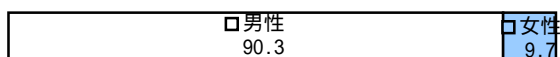
アンケートの方法及び対象

- ・受益である大泉・南殿・田畑地区を対象として実施した。
- ・配布数70、回収数62、回収率89%

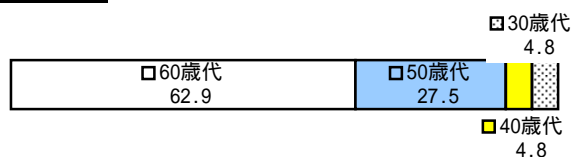
アンケート結果 (1/3)

(単位: %)

問1 性別



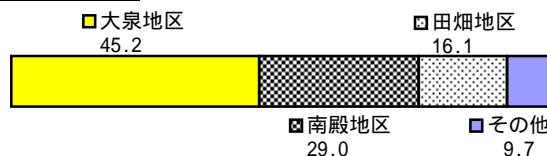
問2 年齢



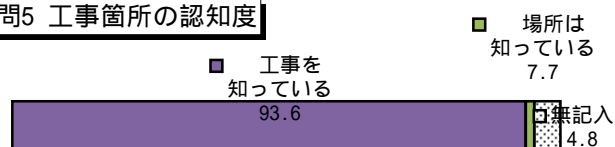
問3 職業



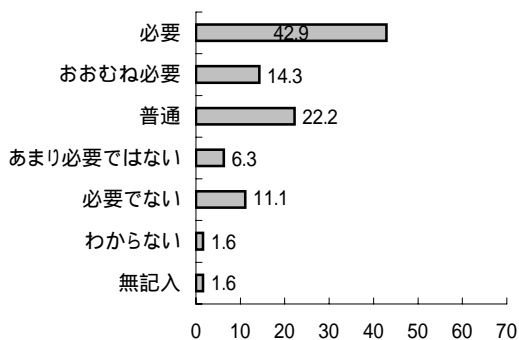
問4 居住地域



問5 工事箇所の認知度



問6-1 工事の必要性



【 理由】

- ・大型圃場、大型農道により、大型機械の使用が可能になり、農作業が楽になった。
- ・いくつかの小区画の農地を工事により1ヶ所に集約して大規模化できた。
- ・小さな水田が1つにまとまり、平らになった。
- ・高低差の大きな土地が平地になり、地形の悪い農地が改良され、耕作がやり良くなった。
- ・耕作しやすい場所であった。
- ・作業が安全になった。工事前は道路が狭く、傾いて危険だった。
- ・水路の老朽化が解消された。
- ・水路もなく、他の耕作者からのかけ流しで田を作らせてもらった。

【 理由】

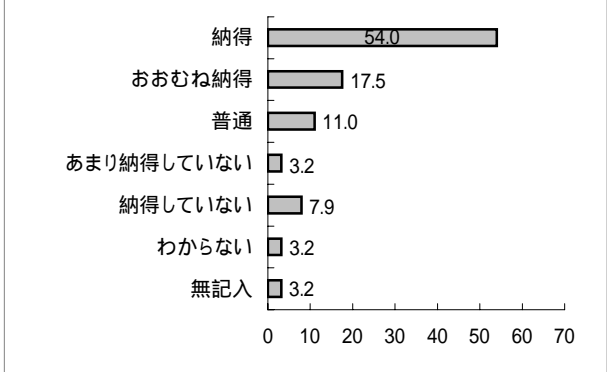
- ・前と、場所、圃場の形があまり変わらなかった。
- ・水田が大きくなったが、現状の地形が悪すぎる。
- ・田が広すぎて草刈も大変。
- ・ゴミの不法投棄が増えて迷惑。
- ・工事する前の方が田んぼが作りやすかった。

5区分	食料	25の施策分野	土地改良総合整備	事業名	経営体育成基盤整備
市町村名	南箕輪村	ふりがな 箇所名	おおいづみ がわ みなみ 大 泉 川 南		

アンケート結果 (2/3)

(単位: %)

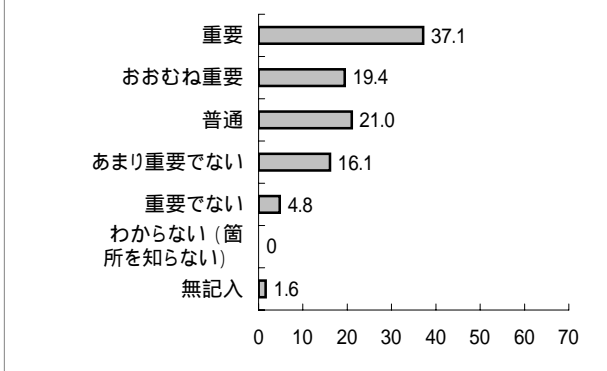
問7-1 税金が使われたことについて



【理由】
 ・経営が苦しい農業の現状からして、国や県で行うべき事業である。
 ・優良農地に変えること、地域の整備に公費が投入されることは賛成。
 ・家電や車等に多額の税金を投入しているから、農業のために使用しても当然だと思う。
 ・農地、道路が整備されて、地域全体のためになった。
 ・農業は、相当部分、国産化する必要あり。農業経営者負担だけでは困難。

【理由】
 ・農業が採算の取れないときにするべきではない。
 ・交通量が多くなり、事故の発生が心配。

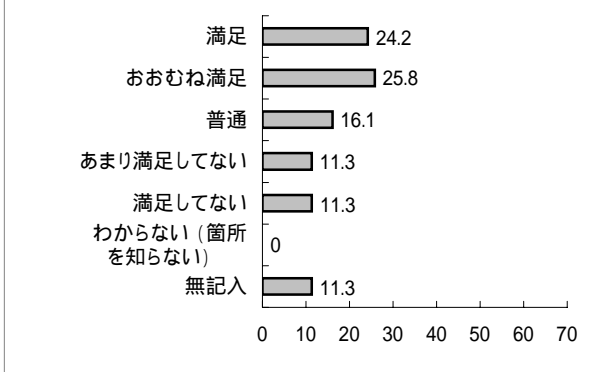
問8-1 地域社会における重要度



【理由】
 ・農業従事者の高齢化もあり重要。地域の農業振興にも寄与する。
 ・用地が十分確保されており、道路や歩道の新設改良が可能。
 ・作業委託が円滑にできると思う。
 ・交通、農作業、景観など大いに目的を果たし、地域全体のためになった。
 ・農地、道路等が整備され、農業経営に、地域環境整備に貢献している。
 ・工事前は、耕作地・非耕作地などあったし、不便な道路であったが、区画整備が行われて農業がやりやすい。

【理由】
 ・自然が損なわれたかも知れない。
 ・前のままで問題はなかったと思う。

問9-1 完成結果の満足度



【理由】
 ・土地所有者は、作業を大型作業車でできる。委託しやすくなった。
 ・農地がまとまり、機械の作業効率が良い。草刈りが大変だが仕方ない。
 ・排水路が少なく、余分な草刈りがない。
 ・草刈りにはとてもよい。移動がなくて仕事はかどる。
 ・水路の管理が楽であり、道路も安全に通れるようになった。

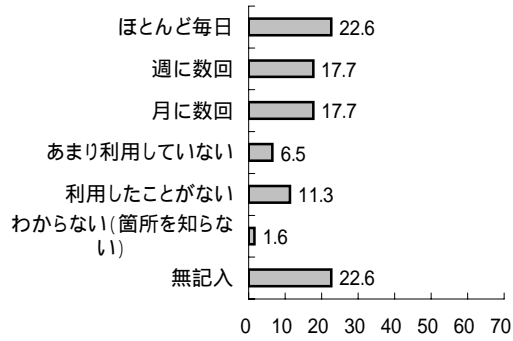
【理由】
 ・石ころが多く、機械が傷む。
 ・土手が高すぎる。

5区分	食料	25の施策分野	土地改良総合整備	事業名	経営体育成基盤整備
市町村名	南箕輪村	ふりがな 箇所名	おおいずみ がわ みなみ 大泉川南		

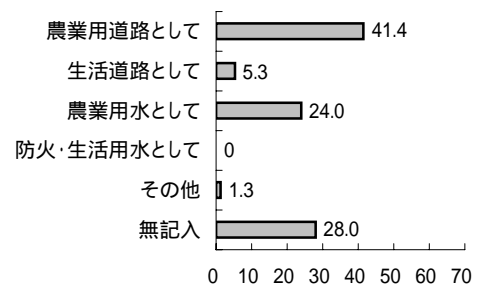
アンケート結果 (3/3)

(単位: %)

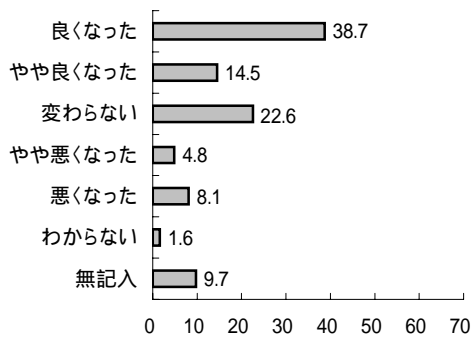
問10-1 施設の利用回数



問10-2 施設の利用目的



問11-1 自然環境の変化



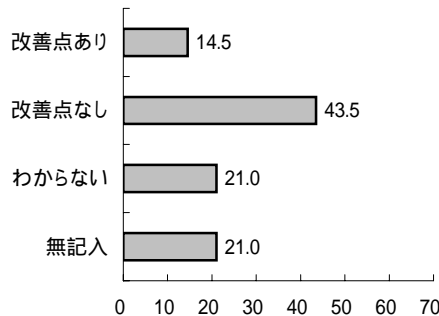
【理由】

- ・整備後は耕作放棄地、藪や雑草地もなくなり景観がよかった。
- ・自動給水器のため、必要な水だけでよく、状況は良くなった。
- ・南アルプスの眺めには最高の場所となった。景観アップ。
- ・大芝高原6号線、大泉川もあり、環境に力を入れてホテルの里で清流を生かしたい。
- ・田んぼの脇に花を植えたりして、きれいになった。
- ・水路が整備されたことにより、短時間で水が水田にかかるようになった。

【理由】

- ・自然環境の意味では、あまりにも人工的だった。
- ・小動物を見かけなくなった。
- ・交差点での見通しが悪い。
- ・道が直線となり交通量が増えた。
- ・春の匂いのものが、出なくなった。

問12-1 完成した施設の改善点



【具体的な改善点】

- ・排水路は、下(地区外)までパイプラインにしてほしかった。
- ・西から東に向けての下り線で、交差点が暗い。
- ・砂利道は舗装してほしい。アスファルト舗装ではなくてチップ舗装はどうか。
- ・花壇をもっと見栄えの良いものにしてほしい。
- ・法面が大きすぎる箇所があり、もう少し小さくできなかったかなと思う。

問13 アンケート箇所に対してその他の意見、要望等

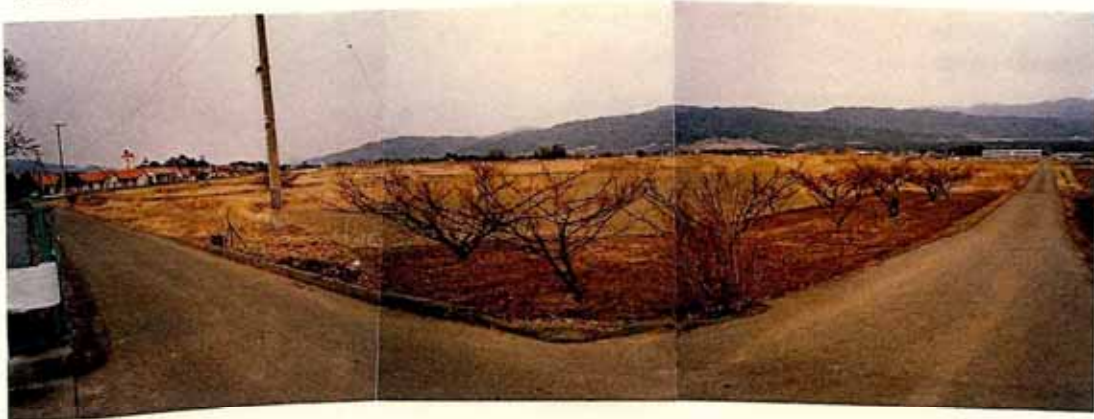
- ・パイプラインのために水利費が安くなった。
- ・農業を行う高齢者には、段差のある土手での作業は危険である。
- ・権兵衛峠トンネル残土による窪地の埋め立てや宅地の造成(完全)等、工事のタイミングが良かった。
- ・小さい子供が自転車で乗って下り坂をブレーキをかけずに交差点に入るため危険。

問14 この箇所に限らず、公共事業についての意見

- ・農地の基盤整備事業は行ってほしい。
- ・見通しが悪い道路がある。
- ・国の予算縮小から、圃場整備事業が行われなくなったことは残念に思う。
- ・境界杭は、畦草刈に非常に不都合。地上に頭が出る程度で良いのでは。

5区分	食料	25の施策分野	土地改良総合整備	事業名	経営体育成基盤整備
市町村名	南箕輪村	ふりがな 箇所名	おおいずみ がわ みなみ 大 泉 川 南		

施工前写真



施工後(現況)写真

